

## 臨時教育研究評議会議事録

I 日 時 平成18年11月30日(木) 14時00分～14時40分

II 会 場 5階大会議室

III 出席者 議 長 岩崎学長  
評 議 員 工藤、瀧田、泉、腰塚、吉武、谷川、高橋、波多野、江口、水林、  
熊谷、高松、中山(伸)、山田、林、海老原、中山(凱)、野村、  
石井、植松、太田、岡本、辻中、長澤、深水、守屋、KAISER  
代理出席 松本宏、穂積毅重、大保信夫

IV 配付資料

第35回教育研究評議会議事録(案) -----[審議資料1]  
総人件費の削減・抑制方策について-----[審議資料2-1]  
総人件費の削減・抑制方策について(案) -----[審議資料2-2]  
つくばスチューデント 2006安全特集・冬号-----[席上配付資料]

V 議事

[審議]

1 第35回教育研究評議会議事録の確認について

第35回教育研究評議会議事録(案)は原案どおり承認された。

2 総人件費の削減・抑制方策について

岩崎学長から、7月20日(木)開催の第32回教育研究評議会において、人件費抑制のための緊急方策について報告した際に、人件費削減の中長期的具体方策については、さらに検討を進め、本年11月を目途に結論を得ることとしており、本評議会において同方策について審議願いたい旨の発言があった。

次いで、泉理事から、審議資料2-1に基づき、本件に関する本学の基本的考え方、平成22年度までの削減目標を確実に達成するための具体的方策及びその考え方について説明があり、審議の結果、原案どおり重点的方策を実施していくことが承認された。

なお、この際、大学教員については部局ごとに教員の実員上限枠を設定することが必要になるが、この点については博士課程研究科長会議において引き続き検討していく旨泉理事から併せて説明があった。

さらに、泉理事から、本件について、労働組合及び過半数代表者に対しては、審議資料2-2によりそれぞれの事業所において順次説明を行い理解を得ていきたい旨及び経営協議会にも諮ったうえで12月の役員会で最終決定したい旨の説明があり、また、出席の評議員、及び陪席の各部長並びに支援室長にも、所属の職員に対して説明してほしい旨要請があった。

〔報告〕

1 学群・学類改組に伴う建物名称について

泉理事から、11月16日（木）開催の第35回教育研究評議会において、再調整することとなった改組後の医学地区の建物名称について、施設部と医学系との調整の結果の報告（一部建物名称について当初案を変更）があった。

2 つくばスチューデントについて

工藤理事から、席上配付資料に基づき、学生担当教員室とセーフティプロジェクトが共同で編集した安全特集号が発行されたので、参考にしてほしい旨報告があった。

次回日程 12月14日（木）14：00～ 5階大会議室

以 上